

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																		
麻生建築&デザイン専門学校		平成9年11月26日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292																		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999																		
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																	
工業	工業専門課程	クリエイティブデザイン学科 ビジュアルデザイン専攻 (令和2年度より ビジュアルデザイン科から名称変更)			平成22年文部科学省 告示第152号	—																	
学科の目的																							
グラフィック、色彩、印刷、WEBなどの基礎知識や技術を習得することを目的とする。また、広告制作に必要なメディア特性・マーケティングなど実践に即したデザインの流れも学習し、幅広く活躍できるデザイナーを目指す。																							
認定年月日																							
平成26年3月31日																							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1,710	550	1,350	-	-	-																
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80人の内数		68(30)人	1人	2人	6人	8人																	
学期制度	■前期: 4月1日~8月31日 ■後期: 9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要																		
長期休み	■夏季: 8月10日~ 9月 6日 ■冬季: 12月21日~ 1月 5日 ■春季: 2月10日~ 4月 5日			卒業・進級条件	単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 各種検定対策補講、数学ゼミ(希望者)			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 広告制作会社、広告代理店			主な学修成果(資格・検定等)※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 面接指導、履歴書指導、求人票説明・指導				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>カラーデザイン検定</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	22人	15人	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	16人	15人	カラーデザイン検定	③	24人	21人
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																		
	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	22人		15人																		
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	16人	15人																				
カラーデザイン検定	③	24人	21人																				
■卒業生数 22 人 ■就職希望者数 17 人 ■就職者数 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 81.8 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
■その他 ビジュアルデザイン科の実績			■自由記述欄 有田陶器市フォトコンテスト 入賞1名 ふくつ古墳まつりポスターコンペ 採用1名 福岡ジルベスターコンサートTシャツデザイン公募 採用1名 福岡スチューデントポスターコンペティション 入選4名 久留米市総合美術展 佳作1名 奨励賞3名 入選12名 マイグンディスプレイボックスコンペティション 健闘賞1組 ハイアットリージェンシー大阪ラッピングバスコンテスト 採用1名 博多区文化・芸術展 会長賞1名 奨励賞2名																				
中途退学の現状	■中途退学者 1名 令和元年5月1日時点において、在学者47名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者46名(令和2年3月31日卒業者を含む)			■中退率 2.1 %																			
	■中途退学の主な理由 進路変更			■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。学科責任者や保護者を含めての面談。ガイダンス記録による報告。																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を全額免除する。(卒業まで)			■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 2名																			
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科のホームページURL	http://www.asojuku.ac.jp/act/subject/visual/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 取締役 人事本部長	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
松田 淳司	ゼネラルアサヒ コミュニケーションデザイン本部 第1制作部長	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	①
井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	②
原 将史	麻生建築&デザイン専門学校 主任	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
稲吉 貴博	麻生建築&デザイン専門学校 副主任	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
高山 裕明	麻生建築&デザイン専門学校 教員	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
松本 剛太	麻生建築&デザイン専門学校 教員	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
八尋 誠	麻生建築&デザイン専門学校 教員	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期) 年2回、開催時期は7月、11月

(開催日時)

令和元年度 第1回 令和元年 6月13日 14:00～16:30
令和元年度 第2回 令和元年 11月22日 15:00～17:00
令和2年度 第1回 令和2年 7月31日 15:00～18:00
令和2年度 第2回 令和2年 12月4日 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

少しでも多くの経験(チャレンジ)を重ね「デザインを計画する」というセンスを養ってほしい。そこから先の技術は、企業により様々なスタイルがあるので、それは入社後から意識する形で良いという意見が挙がった。

基礎力の育成時期においても個々の学生の興味関心に応じチャレンジしたい制作に貪欲にチャレンジさせるようにさせ、学内コンペや外部以来の制作案件にチャレンジする機会を設けた。また関心の視野を広げるため多様な機会を設け、企業連携によるワークショップ企画運営や、ディスプレイコンペなど幅を広げる経験値となる機会を設定した。

近年の傾向として留学生が増えてくる傾向があり、コンスタントに留学生が学ぶ状況にある。文化や生活の中で「他国のデザイン感覚」を意識する必要があるのではないかという話題が挙がった。日本人学生の相乗効果を期待できる環境作りが必要となるかもしれないという声があった。

国際感覚の前提として日本の文化や美意識の根底にあるものについて理解を深める学習を組み入れ、デザインやビジュアル表現に関わる、日本人のアイデンティティの出自を尋ねる学習を盛り込んだ(科目:デザインリテラシー)

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業からの要請等を十分に活かすために企業からのヒアリングやアンケートを行い、その結果を踏まえながらビジュアルデザイン分野に関する職業に必要な4つの分野(エディトリアル・Web・イラストレーション・デジタルフォト)の技術修得に関して、企業との連携により業界でのトレンドなどを加味した極めて実務に近い課題演習を行うことで学生のスキル向上を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・企業担当者が実務にて活用した素材や企画などを、演習にて使用
担当者が実際担当した顧客の依頼案件に対し、どのように考え、計画し、制作したかのプロセスを示し、実際に使用された素材を学生各自が再構成していく演習を設けている。また、合わせて担当者と学生の直接のアプローチなど適時実施している。
- ・演習をより実務に近づける
課題への取り組みの現実味の向上を目標とし、学生に「学校の課題だから」ではなく、「仕事としての約束」として取り組む姿勢を意識させる。
- ・評価は、事前に設定した評価基準に基づき、連携企業の講師が課題の完成度を評価する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン概論Ⅱ	広告・企業とデザインといった視点から、体系化された実務に近いデザイン論を学ぶ。	クリエイティブルーム ERNEST

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名「印刷会社の工場技術と昨今の業界動向・制作現場見学」(連携企業等:株式会社ゼネラルアサヒ)
期間:令和元年10月29日・11月6日 対象:専任教員(1名)
内容:印刷技術のトレンド、メディア戦略に関する講話 実践現場の視察
- ・研修名「Webデザイントレンド講座」(連携企業等:デジタルハリウッド株式会社)
期間:令和2年6月3日 19:30~20:30 対象:専任教員(1名)
内容:WEBデザインのトレンドを確認した上で今のWebデザインのトレンドを紐解き今後のデザインを学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「3つのポリシーの策定・運用実践」(連携企業等:先端教育機構 事業構想大学院大学)
期間:令和元年9月11日、9月25日、10月30日 対象(参加者):専任教員1名
内容:教育の質保証における3つのポリシーの重要性及び関連性理解、策定など
- ・研修名「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
期間:令和2年2月19日 対象:専任教員(1名)
内容:学生のやる気を引き出し、自発的な行動を起こさせる、学生支援スキルを高める。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名「印刷会社の工場技術と昨今の業界動向」(連携企業等:株式会社ゼネラルアサヒ)
期間:令和2年10月(※日程調整中) 対象:専任教員1名(予定)
内容:印刷技術のトレンド、メディア戦略に関する講話 実践現場の視察

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「コーチング実践 ～言動改善対応編～」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
期間:令和3年2月17日 対象(参加者):専任教員1名(予定)
内容:質問のスキルを学生指導に活用、ケーススタディ、グループワーク

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価しHP等を通して公表する。また、学校関係者評価委員会は、本校の関係者として、保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規定、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育施設・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規定の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生ボランティア活動の推進、他
(11)国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

広告デザイン業においては、紙媒体の縮小に反比例してインターネット(Web)などの電子媒体の市場拡大が著しい。中小の制作会社においても少なからず電子媒体で利益を上げる傾向が見られ、教育の達成目標におけるWebメディアのバランスを慎重に考える必要があるという意見が挙げられた。
クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻での学習の柱の一つにWebコンテンツ制作のスキル向上を掲げ指導に臨んでおり、対象科目において指導を行っている。また、卒業生などにヒアリングを行うなど職業教育の実践的ニーズの調査を進めるものとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
中野 貴嗣	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ 設計関連センター センター長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 支社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
和田 義一	株式会社 大設計 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 労政課長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
松田 淳司	ゼネラルアサヒ コミュニケーションデザイン本部 第1制作部長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 取締役 人事本部長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
市川 仁士	福岡県立 福岡工業高等学校 校長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	高等学校関係者
井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	有識者
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	有識者
太田 昌宏	愛知産業大学 教授	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	有識者
川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	地域住民
大塚 剛幸	建築工学科 在校生 保護者	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	保護者
和田 飛雄馬	平成31年度 建築工学科 卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aadc/2019/hyoka.pdf>

公表時期: 令和元年7月22日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等との連携及び協力により、実践的な職業教育の質の向上を推進するため、教育活動及び学校運営の状況について情報を提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、歴史、教育目標、ASOの考え方
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学園祭・部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、学生寮、就職サポート、留学生サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、終始計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(学生便覧)

URL: <https://asojuku.ac.jp> 、 <http://www.asojuku.ac.jp/act/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 クリエイティブデザイン学科ビジュアルデザイン専攻) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジュアルデザイン演習Ⅰ	デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。	1後	60	4	○			○	○			
○			就職実務Ⅰ	就職をするということ、デザイナーとして求められる人材像を考えながら仕事について、働くことについて考えていく。	1後	30	2	○			○	○			
○			Illustrator演習	Adobe Illustratorの基本操作と、それにもなった演習を行う。	1前	30	2	○			○			○	
○			Photoshop 演習	Adobe Photoshopの基本操作と、それにもなった演習を行う。	1前	30	2	○			○			○	
○			DTP概論	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法など基礎知識を演習形式で学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			DTP演習Ⅰ	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法などを実践に則した形で習得する。	1後	60	4	○			○			○	
○			コピーライティングⅠ	広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。	1後	60	4	○			○			○	
○			デッサン・クローッキーA	静物・石膏などの立体物を主に、デッサンの基礎を学び、描画力を身につける。	1前	60	4	○			○			○	
○			デッサン・クローッキーB	デッサンの基礎トレーニングを継続し、描画力の維持向上を図る。彩色表現など多様な表現のためのトレーニングを行う。	1後	60	4	○			○			○	
○			色彩学	ビジュアルデザインで重要となる色彩学を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			PCリテラシー	MicrosoftOfficeの基礎知識と基本操作を習得する。情報リテラシーを身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			デザインリテラシー	著作権やデザイン文化など、デザイナーとしての一般的教養を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネスマナーA	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(立ち居振る舞い・敬語・ビジネス文書)	1前	30	2	○			○		○		
○			ビジネスマナーB	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(交際業務・来客対応・電話対応)	1後	30	2	○			○		○		
○			プレゼンテーション I	各自が作ろうとしている物を知ってもらうためのプレゼンテーションを学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	
○			InDesign 演習 I	Adobe InDesignの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1後	30	2		○		○		○		
○			Webデザイン演習 I	Webデザインにおける、ビジュアルデザインに関するリテラシーと制作手法を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			Web基礎演習 A	Webの基本的な仕組みの理解と HTMLとCSSの仕組みを理解する。コードの意味を理解し、Dreamweaverでマークアップできるようにする。	1前	30	2		○		○		○		
○			Web基礎演習 B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	60	4		○		○		○		
○			GCB I	グローバルシティズンの育成をめざし、感謝心と思いやりをもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○		○		
○			GCB II	グローバルシティズンの育成をめざし、ビジョンと志をもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○		○		
○			デザイン概論 I	広告・企業とデザインといった視点から、体系化されたデザイン論を学ぶ。	1後	30	2		○		○			○	
	○		パッケージデザイン専攻 I (※A)	パッケージ制作に必要なスキルや考え方を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
	○		エディトリアル上級専攻 I (※A)	Adobe InDesignを使用した、誌面構成を主体として学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		デジタルフォト専攻Ⅰ(※A)	一眼レフカメラを使用した撮影技法を学ぶ。	1前	30	2	○			○	○			
	○		Webデザイン専攻Ⅰ(※A)	Webデザインにおける、動的サイト構築に関するリテラシーを学ぶ。	1後	30	2	○			○	○			
		○	イラストレーション専攻Ⅰ(選択)	キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。	1後	15	1	○			○	○			
○			ビジュアルデザイン演習ⅡA	デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。	2前	60	4		○		○			○	
○			ビジュアルデザイン演習ⅡB	発案したアイデアに最適な表現方法を選択し、訴求力の高いデザイン手法による表現を身につける。	2後	60	4		○		○			○	
○			卒業制作A	展示会を目的とし、各自がテーマを持ち学科を象徴した作品群の制作を行う。	2後	60	4		○		○			○	
○			卒業制作B	集大成となる制作を通じ、身につけた最大限を発揮した作品の制作を行う。	2後	60	4		○		○			○	
○			就職実務ⅡA	就職活動における、書類制作や面接についてより具体的な作業を行う。	2前	30	2	○			○			○	
○			就職実務ⅡB	各学生の就職活動の支援。履歴書の書き方や面接の受け方等を、個別にサポートする。	2後	30	2	○			○			○	
○			プレゼンテーションⅡ	資料の演出やストーリーを意識した高度な演習を行う。	2前	30	2		○		○			○	
○			WEBデザイン演習Ⅱ	現実的なWEBサイトの構築を学ぶ。	2前	60	4		○		○			○	
○			DTP演習ⅡA	DTPでの入稿データ制作を目的とした、極めて実務に近い実技演習を行う。	2前	60	4		○		○			○	
○			DTP演習ⅡB	印刷物の入稿データのルールに沿った制作を行い、実務で用いる事例について学んでいく。	2後	60	4		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ペイント技法A	エンボスカードやポスターや絵画の制作を行う。	2前	60	4		○		○				
○			ペイント技法B	サイズの大きいポスター制作に臨む。アイデアの創出から基本的な構想、表現手法の選択、制作計画等を踏まえた制作に臨む。	2後	60	4		○		○				
○			ブランディングデザイン	制作物を一連の統一されたデザイン群として捉えたブランディングを行う。	2後	30	2		○		○			○	
○			デザイン概論Ⅱ	企業と顧客をつなぐ広告やプロモーションに着目し、販売促進のためのデザインやデザインの社会的役割について学ぶ。	2前	30	2		○		○			○	○
○			コピーライティングⅡ	広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。実例を挙げ演習形式で制作を行う。	2前	30	2	○			○			○	
○			InDesign 演習Ⅱ	InDesignを用いた実務的なデータ制作手法について学ぶ。エディトリアルデザインへつながるページデザインまとめについて学ぶ。	2前	30	2		○		○			○	
	○		パッケージデザイン専攻ⅡA(※B)	パッケージ制作の実例について学び、自作パッケージのための習作を行う。	2前	30	2		○					○	
	○		デジタルフォト専攻ⅡA(※B)	一眼レフカメラ、照明器具の使用法を踏まえ、多様な表現のあり方を学ぶ。	2前	30	2		○					○	
	○		エディトリアル上級専攻ⅡA(※B)	一貫したテーマを持った誌面構成の作成について学び、より実践的なエディトリアルデータの作成を行う。	2前	30	2		○					○	
	○		Webデザイン専攻ⅡA(※B)	企画から制作まで一貫した実践的コンテンツ制作を学び、制作の各段階に必要な知識を習得する。	2前	30	2		○					○	
		○	イラストレーション専攻Ⅱ(選択)	基本操作をもとに実務的な活用シーンを想定したイラストレーション制作を行う。	2後	30	2		○					○	
	○		パッケージデザイン専攻ⅡB(※C)	I、IIAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるパッケージ制作を行う。	2後	15	1		○					○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		デジタルフォト専攻ⅡB(※C)	I、ⅡAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるフォト作品の制作を行う。	2後	15	1		○					○	
	○		エディトリアル上級専攻ⅡB(※C)	InDesign演習、エディトリアル上級ⅡAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるエディトリアル作品の制作を行う。	2後	15	1		○					○	
	○		Webデザイン専攻ⅡB(※C)	Webペーに限定しない、各自テーマによるWebコンテンツ制作を行う。	2後	15	1		○					○	
合計			52科目		1905単位時間(127単位)										

※選択必修科目は※A、※B、※Cの中から、それぞれ2科目を選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目(実習を含む)に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 ②出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 ③国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 ④学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週